

週刊大貫のり夫

市政ファイルNo.371



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2013年1月16日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

新市庁舎整備構想案 市民意見募集中

横浜市は、新市庁舎整備基本構想(案)についての市民意見募集を行っています(1月28日まで)。

現在の市庁舎は築50年以上経過して老朽化し、バリアフリー対応も不

十分であること、業務量拡大で執務スペースが足りず、約20の周辺ビルに年間約20億円の賃借料を払って使っており、業務が非効率であることなどから、新市庁舎が必要として、市は4案を策定しました。

現在の市庁舎は、約50億円かけて耐震工事済みです(2010年4月完成、写真左)。老朽化や分散化等の解消のためには新市庁舎建設は必要だとしても、いまの時点でこの構想案の中から決定するのがよいのか、多くの疑問が生じます。(2面に続く)



市民意見募集については、横浜市のホームページをご覧ください。横浜市総務局監理課(電話045-671-2215)にお問い合わせください。

Twitter facebook

ご覧ください

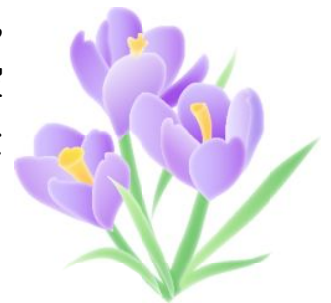
問題は北仲通南地区の土地購入

市が策定した整備構想(案)の4つは次の通りです。

- (1) 案：北仲通南地区に新市庁舎を建設して、まるごと移転。現在の市庁舎跡には大学、文化・芸術・スポーツなどの機能を導入。
 - (2) 案：港町地区の現市庁舎の市会棟を解体して新市庁舎増築棟を建設。行政棟は改修して使用。教育文化センター跡地にも新築棟建設。
 - (3) 案：港町地区の現市庁舎を全て解体して新市庁舎を建設
 - (4) 案：港町地区の現市庁舎を改修、北仲通南地区に新市庁舎を建設して、両方使う。現在の市会棟は解体・撤去して土地を賃貸する。
- 横浜市はこれらの案のうち、(1)案が最適としています。

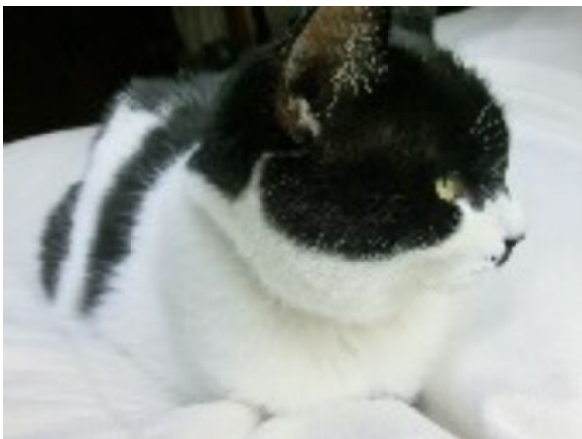
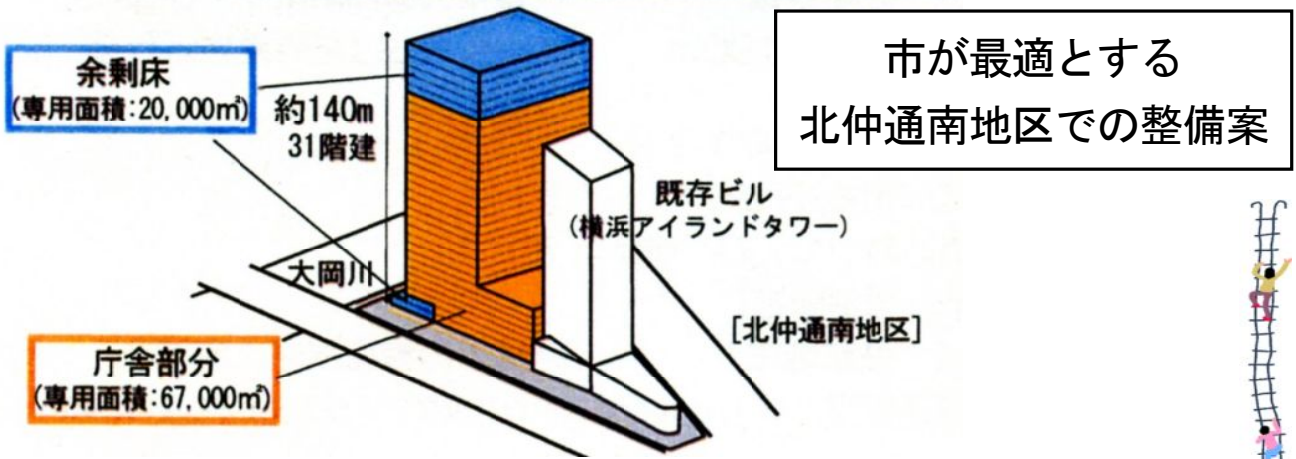
北仲通南地区の土地は、中田市長時代の2008年にUR都市機構から168億円で購入したものです(日本共産党は土地購入に反対)。この土地は、市の「再開発地区計画」で超高層建築物(高さ上限190メートル)の建築が義務付けられています。つまり、市庁舎を移転しなくても超高層ビルを建てなければなりません。

従って、現在の庁舎地に新市庁舎を整備する(2)(3)案でも、北仲通南地区の建築物の建設費用1,100億円が必要です。仮に、この土地を手放せば、違約金等が生じる可能性はあるものの、1,100億円の建設費用は不要になります。



新市庁舎整備計画案の比較

| | (1)案 | (2)案 | (3)案 | (4)案 |
|-----------------------|---------|---------|---------|---------|
| 庁舎の形態 | 一体庁舎 | 2棟庁舎 | 一体庁舎 | 2棟庁舎 |
| 延床面積(m ²) | 145,000 | 110,000 | 113,000 | 145,000 |
| 入居までの期間 | 8年 | 12年 | 13年 | 9年 |
| 建設費等 | 603億円 | 398億円 | 470億円 | 633億円 |
| 北仲通南地区建築物建設費 | なし | 1,100億円 | 1,100億円 | なし |



湯たんぽ

このお正月は、ひどい風邪で寝正月でした。咳と痰がひどく、夜中も熟睡できない日々が続いて、へろへろになっていました。この1週間の闘病生活で一番協力？してくれたのは、猫のクウ助。私の布団の中に潜り込んできて湯たんぽの役をかっててくれました。

雪景色の谷本川

首都圏を襲った14日の爆弾低気圧は、日常生活にいろんなアクセントを与えました。写真は15日の朝の谷本川の雪景色です。14日の夜、すでに星が出ていたので「明日の谷本川はきれいだろうなあ」と思って寝ました。

案の定、15日はよく晴れて、谷本川はいつもと違った姿を見せてくれました。白サギが舞い、カワウもし



くはカモたちがV字型になって川下から飛んできました。

機嫌よく家に帰った後は、家の駐車場と歩道の雪かきです（左側）。お隣さんも、前の婦人服のご主人も「これくらいで音(ね)を上げてたら、北国の人たちに笑われてしまうな」と、ワイワイガヤガヤとにぎやかにご近所と交流。なんだかんだ2時間もかかってしまいました。



白鳥は、寒くなるとシベリア付近から日本にやってくる。白鳥のいる所、カモ類もいる。餌などもらうと、これは俺がもらったのだぞと、ご相伴に与ろうとするカモに襲いかかる白鳥も。バタバタと飛び立つ姿は優雅じゃないが、ツンと気取っていなくて可愛らしい。(M)

